

令和4年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成 果

- ・ 物語を読み、感じたことや考えたことを共有するための話し合いの時間を多く設けたことで、様々な考えや読み方があることを知り、登場人物の心情や文章の要点を読み取る力が伸びた。

(2) 課 題

- ・ 文章を書く力が弱い。
- ・ 既習漢字の定着が不十分である。
- ・ 分からない言葉を、辞書などを引いて調べる習慣が身に付いておらず、語彙力が低い。

2 大田区学習効果測定の結果について

(1) 達成率（同一集団の経年変化）

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
第4学年	・ 目標値を大きく下まわる「文章を書く」や「説明文の読み取り」が苦手。また、文章を読み、中心となる語を見つけることが課題である。	・ 目標値を大きく下まわる「文章を書く」が課題である。	
第5学年	・ 目標値をわずかに下回る。「言葉の学習」「説明文の読み取り」を課題としている。	・ 目標値をやや下回る「漢字の読み」「文章を書く」を課題としている。	・ 目標値をわずかに下回る。「漢字の書き」「文章を書く」を課題としている。
第6学年	・ 目標値より 2.7 ポイント上回るが、活用問題に大きく課題がある。	・ 目標値をわずかに下回るが、「漢字を読む」「漢字を書く」に課題がある。	・ 目標値をわずかに上回るが、「漢字を読む」「漢字を書く」に課題がある。

(2) 令和4年度の結果分析（観点別）

・ 4 学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 漢字は読めるが、書くのが苦手である。また、主語と述語について捉えられていない児童がいる。 ・ 下学年から段階的に、資料を正しく読み取り、自分の考えをまとめて書く習慣を身に付けさせる必要がある。	・ 説明文の読み取りにおいて、叙述を基に内容を捉えるのが苦手である。 ・ 自分の考えとそれを支える事例との関係を捉えて、文章を書く力も弱い。	・ 「文章を書く」の問題において、無回答が半数であった。 

・ 5 学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 「漢字を書くこと」「言葉の学習」を苦手とする。漢字ドリルや小テストなどを繰り返し行い、定着を図る必要がある。	・ 「説明文の内容の読み取り」に課題がある。段落の役割を理解し、文章の要点や要旨を考えながら読み取る力を身に付けさせたい。	・ 「文章を書くこと」「パンフレットをもとに話し合う」で無回答が目立つ。問題を読み取る習慣、課題に粘り強く取り組む力が課題である。

・ 6 学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・「漢字を書くこと」「２段落構成で書くこと」が弱い。漢字の学習や文章を書く習慣化が必要。	・例文をもとに書き直す力が特に弱い。文章の構成を考えて、文章を整え直す力を着けたい。	・無回答が目立つので、粘り強く問題に取り組む力が必要。

3 授業改善のポイント

・ 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 年 ・日常的にスピーチをしたり発表したりする活動を取り入れ、話し方、聞き方を身に付けられるようにする。 ・毎日のノート記録や振り返りを行う際に、助詞「は・を・へ」を正しく使えるように指導をする。 ・新出漢字の学習は、「とめ」「はね」「はらい」及び書き順を丁寧に指導し、文字の形に気を付けて練習させる。 2 年 ・音読カードを使って、読みに上達ポイントを押さえながら練習させる。 ・新出漢字は毎日一字ずつ学習し、家庭学習でも習った漢字の練習を行う。 ・日常的にスピーチ活動を行い、話し方、聞き方を身に付けられるようにする。話すポイントを明確にし、話型を示し話しやすくする。聞き手は、スピーチをしっかりと聞いて、質問や感想を行う。	1 年 ・場面の様子に気付いたり、想像を広げたりして読む力を付けるために、動作化、劇化などの表現活動の場を設定する。 ・書いたことを読み合ったり、よいところを見付けて感想を伝え合ったりする活動を取り入れる。  2 年 ・文章の内容と自分の経験や考えと結びつけて考え、発表し合うことができるようにする。 ・大事なことを落とさないで聞くことができるようにするために、クイズなどを取り入れ、活動を工夫する。 ・「今週のニュース」として出来事や心に残ったことの記録を書くことで、書くことへの親しみにつながっていくようにする。「いつ」「どこで」「誰が」「どうした」などを意識させる。 ・完成した作品を、読み合う時間を確保し、内容や記述の仕方などで友だちの良さを見つけ、伝えられるようにする。	1 年 ・いろいろな種類の本の読み聞かせを行い、読書の楽しさを実感させる。また、朝読書や図書の時間などで十分な読書の時間を設ける。 ・音読カード、ひらがな・カタカナ・漢字練習などの家庭学習に、継続的に取り組ませる。 2 年 ・朝読書や、図書の時間に読み聞かせを行う。読書カードを活用し、読書への意欲を高める。 ・物語文では、積極的に動作化を取り入れ登場人物の気持ちや場面の様子を読み取る。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3年 ・「はじめ、中、終わり」の文章構成を意識することができるようにする。 ・小テストを定期的に行い、漢字やローマ字の定着を図る。 ・読書活動を充実させ、語彙を増やすことができるようにする。 4年 ・漢字の読み書きを定着させるため、毎日漢字の学習時間を確保したり、定期的に漢字小テストを行ったりする。 ・音読は文のつながりを意識して、読めるよう、全文音読する時間をたくさん設ける。 	3年 ・文章を読んで感じたことや考えたことなどについて話し合う時間を設け、一人一人の感じ方には、共通点や違いがあることを理解できるようにする。 ・書こうとしたことが、読み手に明確に伝わっているかなど互いの文章の良さを見つけられるようにする。 4年 ・説明的文章のつくりや、段落ごとの役割などを捉えられるよう、教科書に線を引いて音読をする。穴埋めのワークシートを作成、活用し、読み取ったこと内容を常態や敬体など様々な形に応じてまとめられる力をつけられるようにする。 ・物語や説明文、パンフレットなど、様々なものを要約する練習をして、要点を抑える力を伸ばす。	3年 ・辞書引きや言葉集めの活動に取り組んだり、読書活動を計画的に行ったりして、新しく知った言葉を短冊やノートなどにまとめる。 ・おすすめの本を紹介する機会を設定し、発表したり、紹介したりするなど自分の考えをまとめ、表現する力を高める。 4年 ・単元の最後に、言語活動を設定し、学習内容を深め、定着させる。 ・自主学習ノートを活用し、宿題などで自分が気になった言葉や文章中に繰り返し使われる語などの意味を調べたり、効果を考えたり、意見の共通点に着目して考えをまとめる。

・高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5年 ・意味の分からない言葉は、国語辞典を引く習慣を身に付けさせ、語彙を増やしていく。 ・ドリルや小テストを繰り返し行い、漢字やローマ字の定着を図る。 6年 ・新出漢字が確実に覚えるために、漢字ドリルや小テストを活用して、習熟を図る。 ・「書く」単元では、書いた文章について自分や他者と十分に推敲する時間をとったり、文章の交流を行ったりして、自分の文章について加除訂正ができるようにする。 ・話の目的に応じて、話の内容を捉え、内容を明確にするため、話し手の工夫を捉えさせる文法、語句に関する知識を定着させる。	5年 ・説明文では、段落や構成など、文のまとまりを考えながら読むことを意識させる。 ・文章全体の構成や書き表し方に着目して、文章を整える。 ・話し合い活動では、目的を明確にし、自分と友達の考えの相違点や共通点を見付け、考えを深められるようにする。 6年 ・説明文の単元では、筆者の文章構成の工夫を読み取り、どんな効果や意図があったかまとめたり、まとめたものを掲示して、自分で活用できるようにしたりする。 ・文章全体の構成や展開の明確さなど、互いの良さを見つける。 ・どのように描かれているのか表現に着目させる。 	5年 ・毎日音読の宿題を出して、漢字の読みや語彙を高めていく。 ・単元の導入では、学習のねらいとゴールイメージを共有し、見通しをもって学習できるようにする。 6年 ・学習計画を自分で立て、毎時間ごとに振り返りながら、学習を自身でマネジメントしていく。 ・単元の導入では単元のゴールイメージを共有し、何を学びどんな力を付ける学習か児童と合意形成を図る。